



移住してきたからこそわかる
長浜の良さを伝えたい

料理研究家
土井 詩子さん (西浅井町大浦)

撮影場所：土井さん宅前

料理教室の生徒さんの「教わった料理を作ったら、家族がとっても喜んでくれた」という言葉がとても嬉しかったと話す土井さん。

仕事の都合で、家族で京都から西浅井に移住したのは今から11年前。不安な気持ちはありましたが、キャンプが好きで、引越す前から頻りに来ていたこともあってか、すぐになじめたそうです。

西浅井の印象は、自然が豊かで人が親切、そして何よりもお米や野菜が美味しい。この素晴らしさは、外から来たからこそ強く感じる事ができたといいます。地元の食材のよさをもっと多くの人に知ってほしいと決意。野菜ソムリエの資格をとり、料理教室などを開催したいと考えました。実家が飲

食店ということもあり、もともと料理が好きだった土井さんですが、原点である「地元の野菜のよさを伝える」レシピの考案には大変な時間を費やしたのだとか。

最初は、公民館の「土曜学び座」で子ども向けの教室を開講。「一度見ただけで作れるようになった」、「嫌いな野菜だったけど、この料理だと食べられた」という子どもたちの喜びの感想が寄せられたことに感激したそうです。「やってよかった。もっと料理教室をやってみたい！」とやる気がみなぎりました。

人との繋がりのおかげで、複数の公民館からも声がかかって大人向けの教室も開けるようになり、今では自宅で料理教室の開催や、不定期ながら、

まちなかにオープンした湖北暮らし案内所「どんどん」でランチを提供するなど、さらに活動の幅が広がっています。また、農産物出荷組合から依頼を受けて、特産品の新レシピ開発にも挑戦し、「太秋柿」を使った鹿肉丼のソースなどを考案、地域貢献に繋がる活動にも意欲満々です。

土井さんの料理のコンセプトは、「いつもの素材でちょっと違った料理を」。素材のよさを活かした工夫は、食べる人にいつも驚きと喜びを与えてくれます。

将来は、自分でお店も出したいなど夢を語る土井さん。惚れ込んだ西浅井のお米と野菜の美味しさを伝える料理が、多くの人を笑顔にしてくれることでしょう。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報課（☎65-6504）まで申込みください。



いつも明るい真穂ちゃんとニコニコの実紀ちゃん。これからも姉妹仲良く、元気に育ってね。

(田村町)

安田 真穂ちゃん (平成22年11月生まれ)
実紀ちゃん (平成27年3月生まれ)



いつも、創太お兄ちゃんの事を真似する陽菜ちゃん。兄妹仲良くのびのび育ってね。

鈴木 陽菜ちゃん (平成25年4月生まれ)
創太ちゃん (平成22年12月生まれ)

(平方南町)

まちの人口	平成28年4月1日現在	人口 120,595人	男 58,955人	女 61,640人	世帯数 44,776世帯
	平成28年3月中の異動	転入 523人	転出 675人	出生 89人	死亡 112人 婚姻 56件